

9. 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	徳島空港の国際定期航空便の開設について	○グレーダー・ベイ・エア・ラインの香港=徳島線の国際チャーター便の搭乗率が航空機の定員180名のところ搭乗者が134名の搭乗率70%では、今年の10月末からの週3便での徳島=香港線の国際定期航空便の開設に向けて心配です。不安です。 ※ 国際定期航空路線の航路維持のためには、インバウンドの搭乗率が90%以上並びにアウトバウンドの搭乗率が90%以上でなければならない。 ⇒航空機が常時 ほぼ満席状態でなければならない。 ※ エアトラベル徳島・JTBなどの旅行会社が、徳島空港発着で徳島=香港線のグレーダー・ベイ・エア・ラインの座席を買い取ることができるのか疑問です。 ※ グレーダー・ベイ・エア・ラインは今年の10月末から一機の航空機で、徳島=香港線(週3便)並びに仙台=香港線(週4便)を効率的に就航します。 ※ 全国的に国際定期航空便の運航に必要な航空機ジェット燃料が不足している。 ※ 全国的に国際定期航空便の運航に必要な航空機ジェット燃料を運搬するタンクローリーとタンクローリーを運転する運転手が不足している。
2	徳島=羽田便の国内線の強化について	○徳島県交通政策課と観光政策課が連携して、全日空並びに日本航空の強化を得て、徳島=羽田線の更なる国内線の路線強化をよろしくお願いいたします。 ※ 令和5年度の徳島=羽田線の旅客数は96万6877人で座席利用率は59.4% ⇒早期の目標管理は、徳島=羽田線の旅客数が100万を超えて、座席利用率が60%を超えること ※ 首都圏一都七県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・群馬県・栃木県・山梨県)からビジネス客や観光客を呼び出込むこと ※ 全日空並びに日本航空の羽田空港乗り継ぎ運賃割引制度を活用する。 ⇒全日空の徳島=羽田=富山線や日本航空の徳島=羽田=青森線など) ※ 全日空が徳島=羽田線に中型機のボーイング767-300ER(プレミアムシート)の運航開始
3	高速道路の整備促進等について	○後藤田正純徳島県知事は、国土交通省道路局長を通じて、早期の徳島南部自動車道の全線開通並びに阿南安芸自動車道の全線開通をしなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は、国土交通省道路局を通じて、早期の徳島自動車道(鳴門JCT～川之江東JCT間)の完全四車線化をしなければならない。